



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨロズ

コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 和己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 佐草 彰

TEL 045(543)6802

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	75,631	△2.7	6,562	△11.6	6,598	△8.4	3,785	△2.7
23年3月期第3四半期	77,747	35.8	7,423	180.3	7,199	174.3	3,890	254.8

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 1,565百万円 (△50.6%) 23年3月期第3四半期 3,168百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	200.46	187.30
23年3月期第3四半期	228.74	192.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	78,547	48,648	51.7
23年3月期	76,527	44,541	47.4

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 40,640百万円 23年3月期 36,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	19.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	0.8	7,940	△14.3	8,020	△12.4	4,580	△6.6	227.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	21,455,636 株	23年3月期	21,455,636 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,328,085 株	23年3月期	3,956,466 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	18,883,633 株	23年3月期3Q	17,007,919 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国やインドを始めとする新興国での経済成長が見られたものの、タイの洪水や欧州債務問題などの影響があり、経済成長は鈍化いたしました。

こうした中、日本におきましては、東日本大震災や原発事故に伴う電力不足等による経済活動の減速に加え、夏場以降の急激な円高の影響もあり、低調に推移いたしました。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、北米や新興国での堅調な生産拡大により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ微増いたしました。しかしながら、国内での震災、タイの洪水、欧州の財政問題等の影響から、メーカー間のばらつきはあるものの日系自動車メーカーは減少傾向にあります。

このような状況におきまして、当社グループは震災や洪水の直接的な被害はありませんでしたが、これらによる間接的な影響や円高等により、売上高は、前年同期比2.7%減の75,631百万円となりました。

利益面では、「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとし、全社を挙げて原価低減活動を継続して実施しておりますが、減収による影響に加え、中国及びインドの新工場の操業開始コストの負担等があり、営業利益は前年同期比11.6%減の6,562百万円、経常利益は前年同期比8.4%減の6,598百万円、四半期純利益は前年同期比2.7%減の3,785百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

①日本

主要得意先であります日産自動車の生産は、震災後の挽回生産により震災前の生産状況に戻っております。また、国内外における新車の立上がり車種が前年同期より多く、金型・設備売上が増加したことなどにより、売上高は前年同期比3.2%増の37,044百万円となり、セグメント利益は前年同期比26.4%増の3,724百万円となりました。

②北米

震災等に伴う得意先の生産減に加え、円高による為替換算の影響などにより、売上高は前年同期比5.1%減の23,529百万円となり、セグメント利益は前年同期比19.5%減の702百万円となりました。

③アジア

震災の影響により一時的に得意先の生産が減少したものの、その後の回復により、売上高は前年同期比3.0%増の22,823百万円となりました。

一方、利益面では、中国及びインドの新工場の操業開始コストの負担等があり、セグメント利益は前年同期比27.3%減の2,568百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,472百万円減少の44,189百万円となりました。これは、主として「現金及び預金」が6,356百万円減少、「受取手形及び売掛金」が2,409百万円増加、「その他」が1,333百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ3,492百万円増加の34,357百万円となりました。これは、主として「有形固定資産」の「その他」のうち建設仮勘定が5,342百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ2,019百万円増加の78,547百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて2,173百万円減少の22,015百万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が2,734百万円増加したものの、「その他」に含まれる1年以内償還予定の新株予約権付社債が3,632百万円減少、「短期借入金」に含まれる1年以内返済予定の長期借入金が1,138百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ85百万円増加の7,883百万円となりました。これは、「長期借入金」が552百万円減少したものの、「その他」に含まれるリース債務の増加などによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ2,087百万円減少の29,898百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末と比べ4,107百万円増加の48,648百万円となりました。これは、「資本剰余金」が1,315百万円増加、「利益剰余金」が3,446百万円増加、「自己株式」が2,291百万円減少する一方、「その他の包括利益累計額」のうち「その他有価証券評価差額金」が347百万円減少、「為替換算調整勘定」が2,270百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、第3四半期の実績及び最近の事業環境を踏まえ、現時点で予測できる影響を勘案した結果、売上高は前回発表を若干上回る見込みであります。

利益面につきましては、売上高は増加したものの、新工場の操業開始コストの増加等により営業利益・経常利益共に前回発表とほぼ同水準となる見込みであります。当期純利益につきましては、有価証券の減損等の影響により下方修正しております。

なお、連結業績予想は、次の為替レートを前提にしております。

1USドル=79.79円、1メキシコペソ=6.46円、1タイバーツ=2.62円、1中国元=12.34円、

1インドルピー=1.71円

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,913	15,557
受取手形及び売掛金	12,626	15,035
製品	2,261	2,482
原材料及び貯蔵品	843	1,067
部分品	1,232	1,199
仕掛品	2,681	3,406
その他	4,123	5,457
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	45,662	44,189
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	13,033	11,928
その他(純額)	11,015	15,865
有形固定資産合計	24,049	27,794
無形固定資産		
その他	151	108
無形固定資産合計	151	108
投資その他の資産	6,664	6,454
固定資産合計	30,865	34,357
資産合計	76,527	78,547
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,418	15,152
短期借入金	1,740	601
未払法人税等	1,672	1,281
賞与引当金	790	678
役員賞与引当金	53	40
災害損失引当金	65	60
その他	7,449	4,201
流動負債合計	24,188	22,015
固定負債		
長期借入金	4,975	4,423
退職給付引当金	746	757
その他	2,075	2,702
固定負債合計	7,797	7,883
負債合計	31,986	29,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	5,681	6,997
利益剰余金	42,169	45,615
自己株式	△3,450	△1,158
株主資本合計	47,872	54,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,153	806
為替換算調整勘定	△12,561	△14,831
在外子会社の年金債務調整額	△222	△261
その他の包括利益累計額合計	△11,630	△14,286
新株予約権	74	119
少数株主持分	8,223	7,888
純資産合計	44,541	48,648
負債純資産合計	76,527	78,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	77,747	75,631
売上原価	64,191	63,021
売上総利益	13,555	12,610
販売費及び一般管理費	6,132	6,047
営業利益	7,423	6,562
営業外収益		
受取利息	42	115
受取配当金	62	74
その他	62	127
営業外収益合計	167	317
営業外費用		
支払利息	150	109
為替差損	177	113
その他	63	59
営業外費用合計	391	281
経常利益	7,199	6,598
特別利益		
固定資産売却益	3	8
投資有価証券売却益	—	29
保険転換差益	—	16
その他	8	5
特別利益合計	11	59
特別損失		
減損損失	50	—
投資有価証券評価損	—	235
その他	79	55
特別損失合計	130	290
税金等調整前四半期純利益	7,081	6,367
法人税等	2,022	1,770
少数株主損益調整前四半期純利益	5,059	4,596
少数株主利益	1,168	811
四半期純利益	3,890	3,785

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,059	4,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	△347
為替換算調整勘定	△1,660	△2,638
在外子会社の年金債務調整額	36	△45
その他の包括利益合計	△1,890	△3,031
四半期包括利益	3,168	1,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,386	1,129
少数株主に係る四半期包括利益	782	435

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	31,110	24,531	22,105	77,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,791	267	60	5,119
計	35,901	24,799	22,165	82,866
セグメント利益	2,947	872	3,531	7,351

2. 報告セグメントの利益金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,351
セグメント間取引調整額	72
四半期連結損益計算書の営業利益	7,423

II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	29,552	23,298	22,780	75,631
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,491	230	42	7,765
計	37,044	23,529	22,823	83,397
セグメント利益	3,724	702	2,568	6,994

2. 報告セグメントの利益金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,994
セグメント間取引調整額	△431
四半期連結損益計算書の営業利益	6,562

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。